

取扱説明書



作業用踏台 アルミ 連結式

注文コード:55766124
55766149
55766167
55766185

このたびは、作業用踏台 アルミ 連結式 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。



- 本製品は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、本製品が安定した状態を確認してください。
- この取扱説明書に書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分しています。

次の図記号はお守り頂く内容を説明しています。



この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれ大きい」内容です。



この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。



この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「けがや傷害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。



この表示は、「実行しなければならない」内容です。



この表示は、「してはいけない」内容です。

【絵表示について】

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書とラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



この表示は、感電のおそれがあることを示します。



この表示は、天板の上で爪先立ちすると、身体のバランスをくずして、転倒する危険があることを示します。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。
また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。



設置するときや持ち運ぶときは、配電線、周囲の人や物に注意する。
感電や器物損傷などのおそれがある。



天板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たない。
転倒や転落のおそれがある。



作業用踏台としての用途以外の使いかたをしない。
ケガや器物損傷のおそれがある。



ラベルに記載している最大使用質量の範囲内で使用する。
転倒、転落や本製品の変形などのおそれがある。



改造・分解しない。
本製品の破損による転倒や転落のおそれがある。



子供や取扱説明書・ラベルの内容が理解できない人には使用させない。
ケガや器物損傷のおそれがある。



子供が使用できる状態で放置しない。
転倒や転落のおそれがある。



使用前には必ず点検を行い、異常の有無を確認する。
ケガや器物損傷のおそれがある。



破損や変形した本製品は使用しない。
ケガや器物損傷のおそれがある。



本製品から身体を乗り出さない。
転倒や転落のおそれがある。



同時に2人以上乗らない。(連結時は除く)
転倒や転落のおそれがある。



本製品に飛び乗ったり、本製品から飛び降りたりしない。
ケガや器物損傷のおそれがある。



足元をよく確認しながら昇り降りする。
転倒や転落のおそれがある。



高さ調節のために台や箱の上に乗せて使用しない。
転倒や転落のおそれがある。



体調不良や安静を要するときには使用しない。
身体のバランスが保てずに転倒や転落のおそれがある。



連結する場合は、必ず本紙の通りに取り付ける。
転倒、転落や器物破損のおそれがある。



本体に貼り付けているラベルがなくなったり、読めなくなったりした場合は、本製品を使用しない。
ケガや器物損傷のおそれがある。



本製品を他者に貸すときは、取扱説明書も合わせて貸し出す。



運搬時にロープなどで固定するときは、強く締めつけすぎない。
変形や破損のおそれがある。



本製品を引きずったり、投げたりしない。
変形や破損のおそれがある。



連結している状態では持ち運ばない。
ケガや器物損傷のおそれがある。



本製品同士を連結するときや外すときは、慎重にゆっくり行う。
乱暴にすると変形や破損の原因になる。

2 ご使用前の点検

本製品をお使いになる前には、点検を行い、次の異常がないことを確認してください。
また、異常に対しての処置は「トラブルシューティング」を参考にしてください。



脚部支柱や天板の曲がり・ねじれ・へこみ



取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食



リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ち



滑り止め端具の外れ・すり減り



本製品各部のガタツキ(各部をねじってみるなどの、点検を行う。)



製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対しない。
手直しをしても本体の破損が起こり、転倒や転落などの事故の原因になる。

3 本製品の使い方

設置場所について

●設置する前に、必ず本製品の点検を行ってください。点検方法は「ご使用前の点検」を参照。

●次のような場所に設置する。

平坦で安定した場所 / 滑りにくい場所 / 本製品が埋もれない場所 / 足元や周囲がはっきりと見える明るい場所

周囲に危険な物がない場所 / 作業や昇り降りに支障のない姿勢で使える場所 / 雨や水のかからない場所/ 強い風を受けない場所

●設置後、ガタツキがないことを確認する。

ガタツキがある場合や上記のような場所に設置できない場合などは、移動して安全な場所で使用する。



本製品が不安定になる場所や状態で使用しない。
転倒や転落のおそれがある。



振動の激しい場所では使用しない。
転倒や転落のおそれがある。



周囲に危険な物や、障害物のある場所には設置しない。
転倒、転落や器物損傷のおそれがある。



ドアなど出入り口付近で使用しない。
ドアが当たったり、人が通ることで転倒や転落のおそれがある。



天板にグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど滑りやすい物が付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取る。
ケガや器物損傷のおそれがある。



風雨の強い状況で使用したり、放置したりしない。
転倒、転落や器物損傷のおそれがある。



天板が水平にならない場所には設置しない。
転倒や転落のおそれがある。



滑りやすい場所に設置して使用しない。
転倒や転落のおそれがある。



天板の上に台や物を置いて使用しない。
転倒や転落のおそれがある。



本製品に異常がある場合は、手直しや補修などをせずに使用を中止する。
転倒や転落のおそれがある。

昇りかた・降りかた・作業のしかた

●運動靴など、滑りにくいはき物をはく。

●ゆっくり慎重に、本製品を昇り降りする。

●清掃作業で使用するときは、本製品に水がかからないよう十分気をつける。

●天板の上で作業するときは、本製品から身体を乗り出さない。

●天板に乗るときは、足を軽く開き、身体が天板の中央にくる位置に乗る。



天板に板をかけて、足場などに使用しない。
転倒、転落や器物損傷のおそれがある。



使用中に本製品の上で壁や物を無理に押したり引いたりしない。
転倒や転落のおそれがある。

4 お手入れの方法

本製品にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

汚れをとる

●汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭きとる。。

●汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭くこと。

●油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取る。



クリーナーや洗剤を付けた状態で放置しない。
腐食のおそれがある。

5 保管の方法

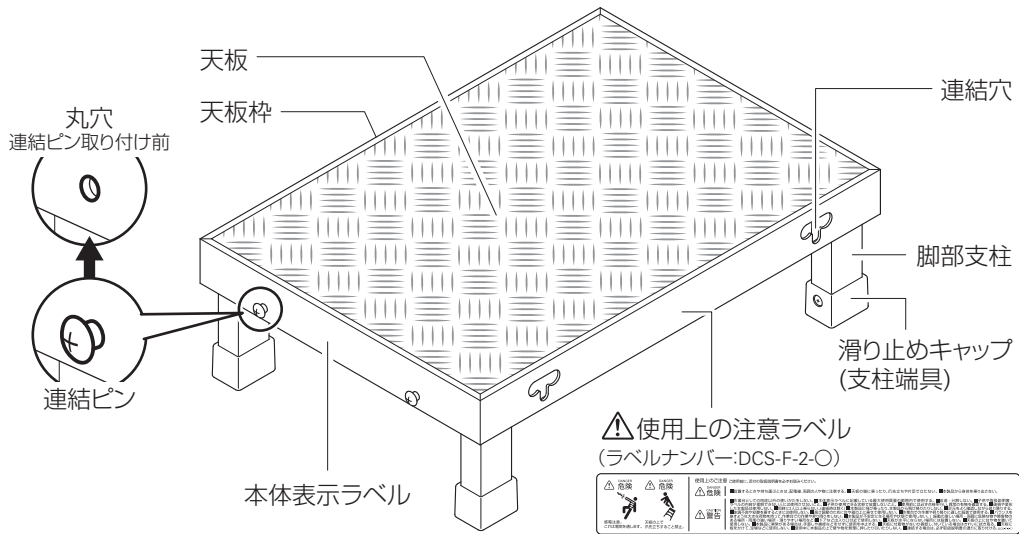
本製品を必要なときに安全にお使いいただくために、十分にお手入れをしてから保管してください。
また、転倒による事故や破損を防ぐために、下記の状態でご保管ください。

- 雨や直射日光が当たらない屋内に保管してください。
- 高温にならない場所に保管してください。
- 本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠ 注意

- ❌ 本製品の上に物を置かない。
変形のおそれがある。
- ❌ 本製品を屋外に放置しない。
各部の劣化や腐食のおそれがある。
- ❌ 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を保管しない。
化学反応を起こして腐食するおそれがある。

6 各部の名称 [下図：連結ピン 取り付け後]



【ラベルについて】

※ラベルのデザインは記載のものから予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
※ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
(ラベルナンバーは、ラベルの右下に記載されています。ラベルナンバーの「O」は、改訂ナンバーになります。)

7 構成部品 【はじめに】 ●構成部品が全てそろっていることをご確認ください。

	本体	取り付け部品				
名称	[A] 作業用踏台本体	[B] 連結ピン	[C] ナット	[D] ワッシャー	[E] スプリングワッシャー	
数量	1	4	4	4	4	

8 組立方法

【必要工具】ドライバー / スパナ (M6) (※お客様にてご用意ください。)

【はじめに】※連結をしない面の「連結ピン」は取り付け不要です。
設置場所の状況に応じて取り付けの有無を判断してください。未使用部品の保管・管理は自己責任でお願いします。

1 丸穴に連結ピンを、図の通りに仮止めする。

2 連結ピンを工具で固定する。
ナットをスパナで押さえ、連結ピンをドライバーで締めつける。

3 反対側も同様に取り付ける。
全ての丸穴(合計4カ所)に取り付け、完了。

9 連結方法

1台を連結する場合 (1面繋げる場合)

図のように連結された製品に、連結する場合 (2面繋げる場合)

1 連結穴に連結ピンを差込む。
※穴の上部に差込む。

2 ピンを連結穴の溝にはめ込み、作業用踏台をロックする。
- 製品本体を下に降ろす。
- ピンを連結穴の溝に全てはめ込んで完了。

⚠ 注意

❗ 本製品同士を連結するときや外すときは、慎重にゆっくり行う。
乱暴にすると変形や破損の原因になる。

❗ 連結して使用する場合は、一部の脚が浮かないように設置すること。

1 Aの連結穴に連結ピンを差込む。
※穴の外側に差込む。

2 ①で差し込んだ連結ピンをB側へスライドさせる。
中心まで移動
Bの連結穴に連結ピンを差込む。
作業用踏台を持ち上げたまま移動させる。
製品本体を地面に付けず、水平に移動させる。

3 全てのピンを連結穴の溝にはめ込み、作業用踏台をロックする。
- 製品本体を下に降ろす。
- ピンを連結穴の溝に全てはめ込んで完了。

10 「故障かな?」と思ったら(トラブルシューティング)

現象	点検する箇所	処置のしかた
本製品がガタツク。	平坦な安定した場所に設置していますか。	平坦な安定した場所に移動してください。
	連結した本製品同士の連結部(連結ピン)に、ゆるみがありませんか。	ある場合は連結ピンを取り付け直してください。 解決しない場合は、弊社までお問い合わせください。
	接合部に、ゆるみやガタツキ、ひび割れがありませんか。	異常がある場合は、使用を中止して、弊社までお問い合わせください。
	全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	
	脚部支柱に曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	滑り止めキャップ(支柱端具)を交換してください。 交換については、弊社までお問い合わせください。
	滑り止めキャップ(支柱端具)が、外れたり、すり減ったりしていませんか。	

廃棄について 廃棄する地域の自治体の指示に従って、適切な方法で廃棄してください。